

## 未婚男性の結婚・仕事に関する意識調査

我が国の出生率が長期的に低下傾向で推移している背景には、未婚化や晩婚化・晩産化の進展があると指摘されており、特に男性の未婚者が急増していることも一因である。内閣府経済社会総合研究所が実施した意識調査<sup>(※1)</sup>によると、未婚男性でも、結婚希望が高い人や具体的に結婚後の生活を描いている人ほど、将来子どもを持ちたいと希望している傾向があることが分かった。

### （結婚希望が高い人、結婚相手の人生について具体的なイメージを持つ人ほど子どもを欲しい人の割合が高い）

図1によると、正社員、非正社員<sup>(※2)</sup>ともに「結婚したい」「なるべく結婚したい」と、結婚を希望している人ほど、子どもを「絶対欲しい」「欲しい」と考えている人の割合が高い傾向がみられる。特に、「結婚したい」人では、子どもを「絶対欲しい」「欲しい」と考えている人が、正社員でも非正社員でも9割弱と高い割合である。

また、図2から、正社員、非正社員ともに、結婚相手となる人の人生について、「子を持ち継続就業」「子を持ち再就職」と具体的なイメージを持っている人の方が、「特に思うことなし」と考えている人と比較して、子どもを「絶対欲しい」「欲しい」と考えている人の割合が高い。

### （交際女性ありの男性の方が、結婚後の相手の人生を具体的に考えている）

交際している女性と結婚相手の人生についての調査結果では、図3に示すように、正社員、非正社員ともに、「交際している女性はいない」と回答した人の方が、結婚相手の人

生について「特に思うことはない」と答えている人の割合が高い。

交際している女性がいる人の方が、結婚を考えている、いないにかかわらず、結婚相手の人生として、「子どもを持つが、仕事は続ける」「子どもを持つが、結婚や出産を機会にいったん退職し、子どもがある程度大きくなったら再び仕事を持つ」と考える人が多い。

この結果から、結婚に近い位置にあるとみられる未婚男性（結婚したいと思って交際中、または結婚予定の女性がいる）の方が、具体的に子どもを持った後も、継続就業または再就職を望んでいる人の割合が高いことから、結婚後も夫婦共働きが可能となるような環境整備が求められていると考えられる。

#### （※1）「未婚男性の結婚・仕事に関する意識調査」

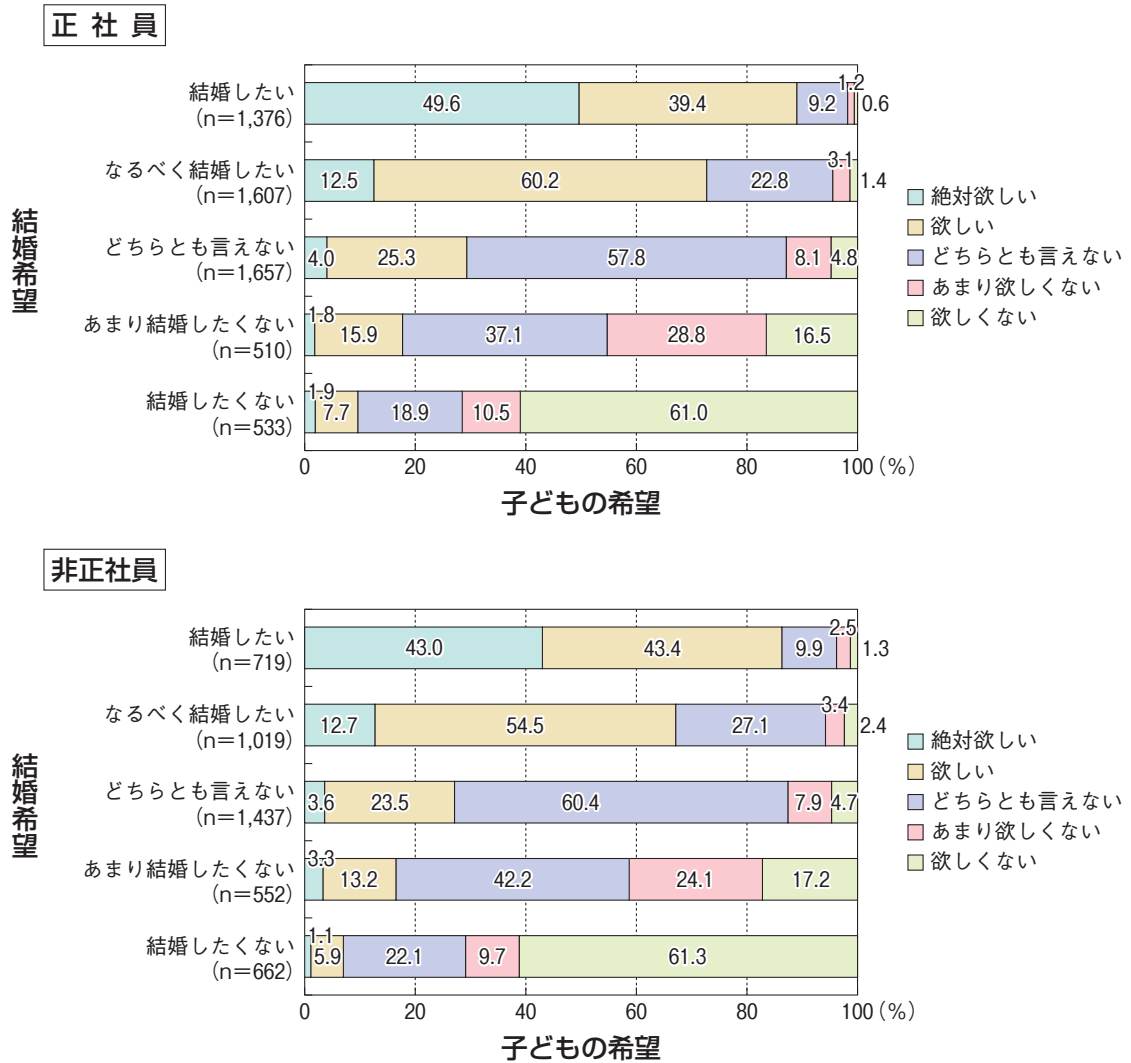
内閣府経済社会総合研究所少子化ユニット実施（平成23年）

- ・調査対象：全国（岩手県、宮城県、福島県を除く）20歳以上55歳未満の未婚男性10,072人（雇用形態別・年代別で割付）
- ・調査方法：委託調査会社及び提携会社の登録モニターに対するインターネット調査
- ・調査期間：平成23年9月9日～10月14日

#### （※2）

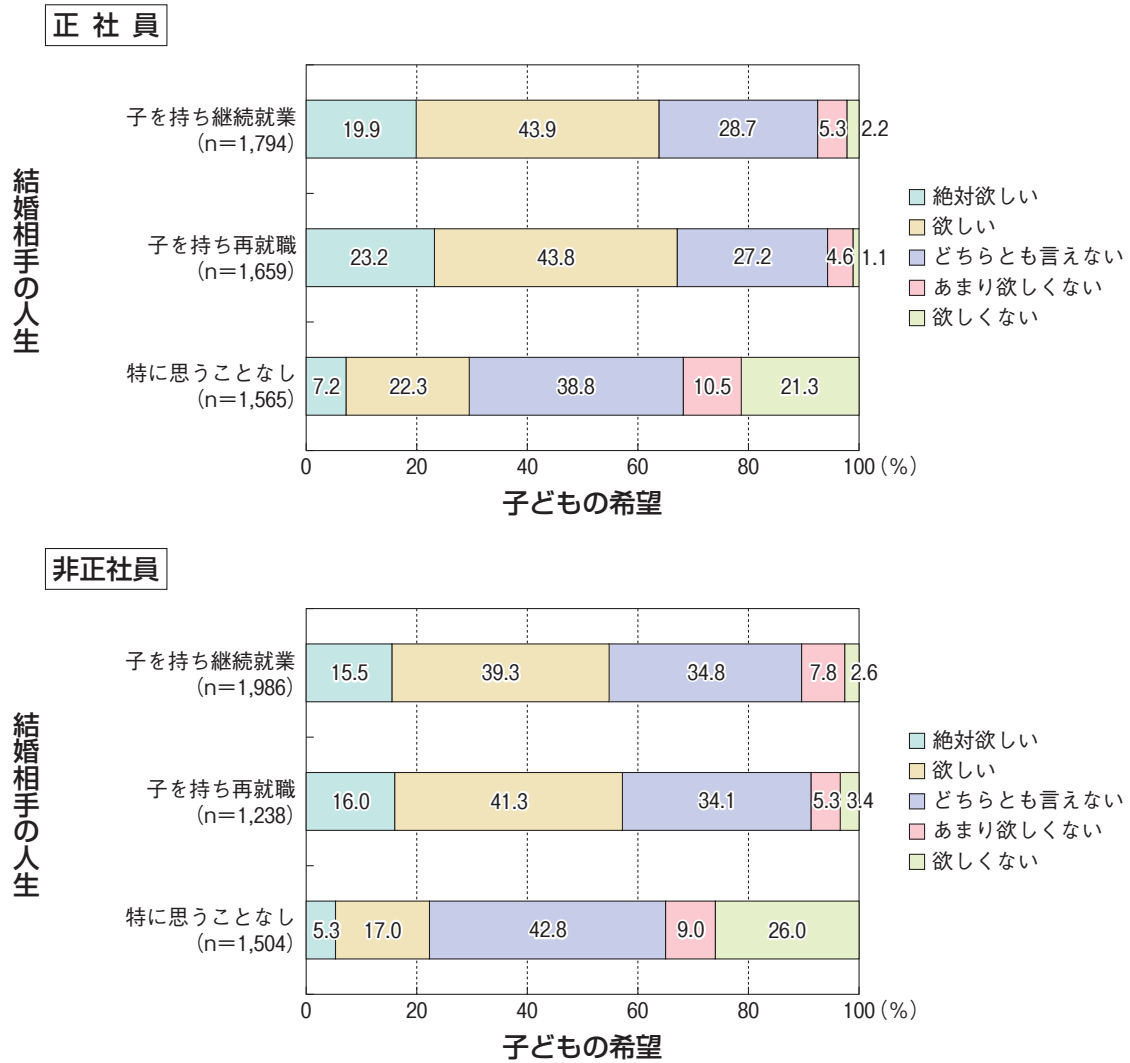
- ・本調査でいう正社員：雇用形態として、一般職員又は正社員などと呼ばれている人。（会社員、公務員、教職員、団体職員を含む。）
- ・本調査でいう非正社員：雇用形態として、「契約社員・嘱託」「派遣社員、業務請負会社の社員」「パート・アルバイト」を選んだ人。

【図1】結婚希望と子どもの希望についてのクロス集計



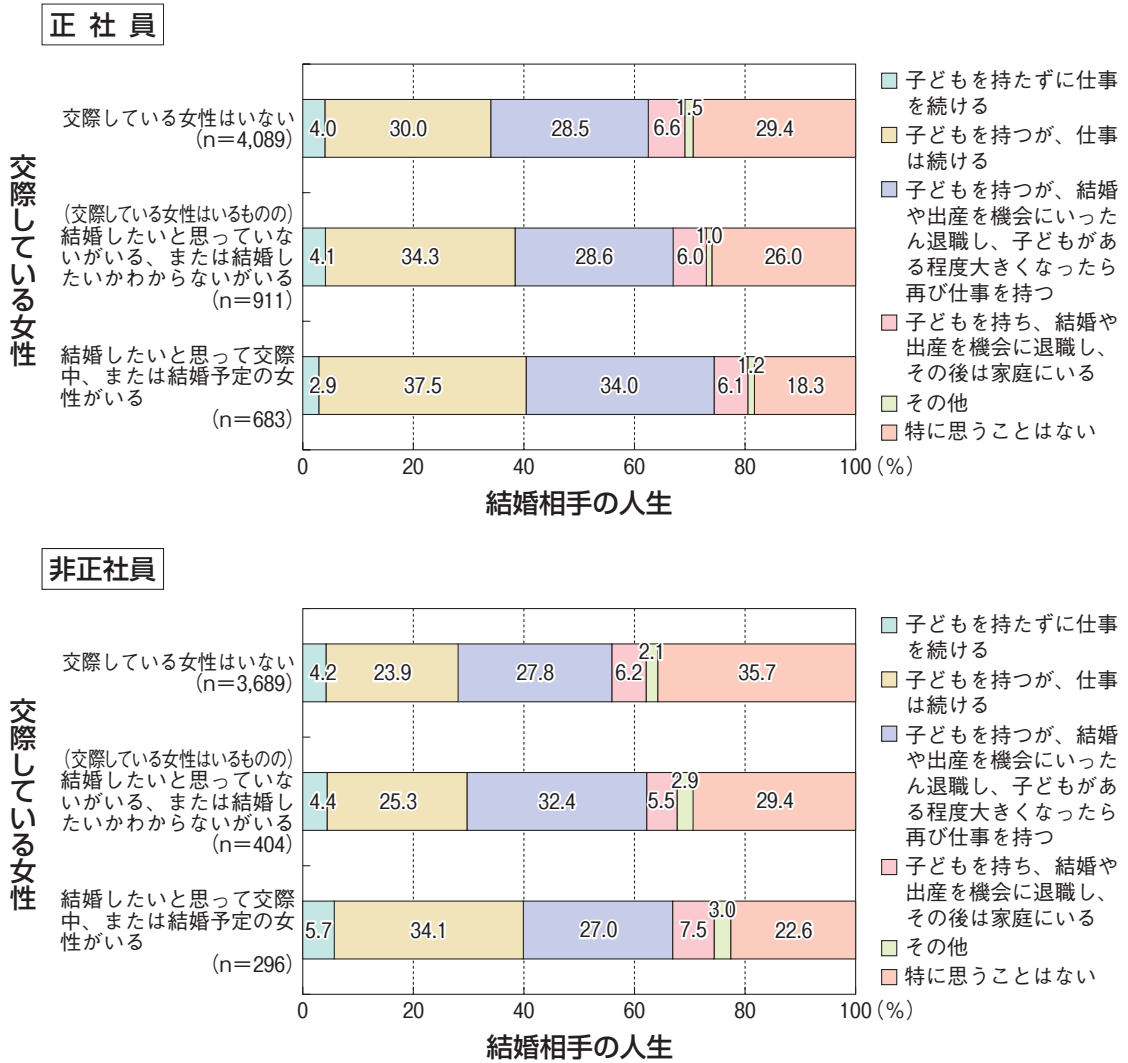
資料出所：内閣府経済社会総合研究所少子化ユニット特別集計

【図2】 結婚相手の人生と子どもの希望についてのクロス集計



資料出所：内閣府経済社会総合研究所少子化ユニット特別集計

【図3】 交際している女性と結婚相手の人生についてのクロス集計



資料出所：内閣府経済社会総合研究所少子化ユニット特別集計